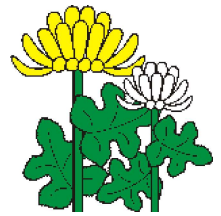




希望の花

鶴ヶ島市立西中学校
学校便り No.7
令和6年11月28日
文責 校長・真武公司

「日本で暮らす一番のよさは、四季それぞれの趣を楽しむことだ」と私は思っています。それが、先月末までは半袖で過ごしていたのに、今はもふもふの暖かい服が必要になっています。四季の中でも過ごしやすい春と秋はどこへ行ってしまったんだと嘆いていたところ、気象学が専門の三重大学生物資源学部、立花義裕教授へのインタビュー記事が目にとまりました。タイトルは「日本は四季から二季に変わったのか」です。



原因は日本付近で「黒潮」と「偏西風」の流れが変わってしまったことにあるそうです。猛暑、豪雨、豪雪、異常な台風、米の品薄、海の幸の獲れ高の異変 等々が引き起こされ、私たちの生活に大きな影響が出てきています。今までの異常と考えていたことが普通になる「ニューノーマル化」が起こっていると言われていています。この状況はかなり危機的で、このままだと気候変動は暴走し、どんなに二酸化炭素を削減しても、異常な気象は緩和されず、後戻りできない状況になってしまうと予測されています。

私たちができることとして「一番大事なものは気候変動を自分事と考える人が大多数になること。一部の人がいくら頑張っても、気候変動は改善しない。半数以上の人が少しでも気候変動について考え、二酸化炭素を出さない生活を心がければ、きっと変わるはず」「車に乗る機会を減らしたり、歩いたり自転車に乗ったり、車に乗らない人は、電気をこまめに消すとか、LEDを使用するとか、とにかく意識を変えることが大事。人によって生活スタイルが異なるので、それに合った二酸化炭素の削減方法を意識してほしい」とおっしゃっています。やはりできることをコツコツと、ですね。



また、「イタリアでは小学校から気候変動に関する授業が必修科目で、その原因をしっかり学んでいる。ヨーロッパでは環境問題のメインは気候変動。環境問題を語るとき、最初の切り口は気候からだ。しかし、日本では環境問題を学ぶとしても、気候の問題はその一部でしかない」と話されていて、なかなか悩ましい指摘です…。

義務教育修了までに身に付けておきたいこと

ある大学教授の嘆きの声です。

「どのレベルの大学でも、教員に対する尊敬のような気持ちは、昔よりかなり薄れている印象があります。たとえば、授業中に何の断りもなく突然席を立ち、トイレに行って黙って戻ってくるとか。もちろん、人間なので急な腹痛などで席を立つことは仕方がないと思いますが、その際には一言声をかけるのが普通じゃないですか？

あと、常識やマナーが身につけていない学生も多いです。レポートの提出期限が過ぎていのに、『なんで受け取ってくれないんですか!?!』と窓口で騒ぎ立てて抗議する学生がいたり……。

それに、距離感やコミュニケーションの仕方も少し前とは全然違う感じがしますね。た

例えば、メールの問い合わせですごく多いのは、LINE世代だからか、チャットのような形で返ってくる。普通なら『〇〇先生、いつもお世話になっています』などの文章から始まると思うんですけど、件名も本文もなく、ただレポートや資料を添付して送ってくる。ファイル内に氏名が書いてあるからいい、とでも思っているのか…



…」(読売新聞記事から引用)

この内容を読んで、どこがおかしいの? と思いますか。それとも、大学生にもなってどうしたの? と思いますか。中学生であっても後者を感じてほしいと思います。

私はかつて、入試をして入学者を選抜をする中学校に勤めていました。その学校は、学校としての使命や理念が明確に示されていて、その使命や理念に共感する人に入学してほしいと訴えていたこともあり、いわゆる学力の伸長だけでなく、人としての品位を身に付ける指導をかなり強く行っていました。各教科(もちろん9教科)の担当者は信念をもって指導に当たるので、その課題は質・量ともに半端ないものでした。加えて言葉遣いや立ち居振る舞い等も細かく指導していたので、在学中、生徒はかなりしんどい思いをしていたと思います。しかし、同窓会では「高校に入って、時間を守らない、返事ができない奴が多くてびっくりしました」「大学で出される課題なんて、中学の頃に比べると全然楽勝です」と話す姿を見ると、基本的なことをしっかりと身に付けておくことは大事なんだなを改めて思います。ただ、口を揃えて「中学のときは本当に大変で不満も多く、そんなことは考えませんでしたけど…」とは言いますが…。

教育の目的は人格の形成です。自律して社会を生き抜くために、義務教育修了時点で身に付けておきたい資質・能力があります。それを身に付けるためには、好きなことばかりを選択するのではなく、困難なことに挑戦することは必要だと思っています。もちろん、過度な負担を強いることはできません。でも、すぐに易きに流れることはいかがなものかと感じる今日この頃です。

山崎晃裕選手講演会



東京とパリのパラリンピックにやり投げ選手として連続出場された本校卒業生の山崎晃裕選手の講演会を開催します。山崎選手の意向で、多くの保護者や地域の方々の参加を募ります。会場準備の都合上、参加者を事前に把握したいと考えています。保護者の方はC4thで送付したアンケートで、地域の方はQRコードから、または直接西中学校へ連絡(Tel 286-1481)をお願いします。

日時：令和6年12月19日(木) 14時から15時20分 会場：西中学校体育館

12月の主な行事予定

3日(火) 学校朝会
 4日(水) 集金日 学年学級の日
 6日(金) 学校公開日 3年模擬裁判授業
 1・2年保護者会
 2年修学旅行説明会
 10日(火) 生徒朝会
 希望面談期間(～12/16)
 11日(水) あいさつ運動

17日(火) 5時間授業
 18日(水) 薬物乱用防止教室
 19日(木) 山崎晃裕選手講演会 5時間授業
 20日(金) 5時間授業
 23日(月) 3時間授業 大掃除 給食最終日
 24日(火) 2学期終業式 3年通知書配付
 25日(水) 冬季休業日(～1/7)

1月

8日(水) 3学期始業式 不審者対応訓練
 9日(水) 給食開始